

解答

一

- I ① ゆうち ② きゆういん ③ うなが ④ 専門 ⑤ 練 ⑥ 探査
II ⑦ 月 ⑧ 真 ⑨ 水 ⑩ 足

二

問一 イ 本を盗んだことがうしろめたかったから。

問二 ウ 本を盗んでしまったことを直接謝ることができなくなったから。

問三 イ 女の人は積

問四 ウ 世界への扉

問五 エ 記憶のなかのミツザワ書店

三

問一 A エ B イ

問二 C ア、エ D イ、ウ

問三 ア 以前の自分と比べ向上心に満ちているから。

個性

みんな自分

ウ

イ ↓ ウ ↓ ア

エ

ウ

解説

二

問一 ——①の前に、「読みはじめてすぐに引きこまれた。」「食事をしているあいだも、続きを読みたくて仕方なかった。」という記述があることから、最も適当なものとして、選択肢イが選べます。

問九 直前の部分から、——⑧の「それ」とは、店の前に並べられた週刊誌や、漫画、埃で曇った窓ガラスのことを指していることがわかり、それらをまとめて「記憶のなかのミツザワ書店」と表現しています。

三

問四 ——②の直前に着目します。青年期は自己に二重性があり、適当に流されている自分に不満をもたなかった以前と比べて、はるかに向上心に満ちているので、けっして否定すべきものではないという説明があるので、理由として「以前の自分と比べ向上心に満ちているから。」という内容をまとめます。

問十 本文では、青年期の状態を分析しています。理想の自分と現実の自分との比較で、満足しにくく、今の自分に納得がいかないことがあっても、自分を否定する必要はなく、むしろ肯定して、いろいろ試してみればいいと述べていることから、選択肢ウが選べます。